

事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：研究科以外の教育研究上の基本となる組織の設置

注1

九州工業大学大学院 情報工学府

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 九州工業大学
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務課企画総務係

職名・氏名 カカリチョウ ヤマデタカシ
係長 山出崇

電話番号 093-884-3043

(夜間) 093-884-3043

F A X 093-884-3015

e-mail sou-soumu@jimu.kyutech.ac.jp

(注)1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「 大学 学部」

・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「 短期大学 学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

目 次

1	調査対象大学等の概要等	．．．．P 1
2	授業科目の概要	．．．．P 14
3	既設大学等の状況	．．．．P 36
4	教員組織の状況	．．．．P 37
5	その他全般的事項	．．．．P 43

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 九州工業大学

(2) 大学名

九州工業大学

(3) 大学の位置

〒820-8502
福岡県飯塚市川津680番4
(〒804-8550
福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号)

(注) 『(3) 大学の位置』は、対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報工学府 情報科学専攻(博士前期課程) 修士(情報工学)	2年	88人	176人	基礎となる学部名等 情報工学部 知能情報工学科 システム創成情報工学科 生命情報工学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員超過率	備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(若干名) 88人	(若干名) 88人	() 人	1.06倍	
志願者数	() 94	() 139	()		
受験者数	() 93	() 136	()		
合格者数	() 89	() 116	()		
B 入学者数	() 82	() 105	()		
入学定員超過率 B / A	(-) 0.93	(-) 1.19	()		

(注) 1 ()内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[1] 82	[2] 105	[]	平成20年10月1日付け情報創成工学専攻へ1名転専攻
2年次	[]	[1] 81	[]	
計	[1] 82	[3] 186	[]	

(注) 1 []内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [0] 0	計 [1] 82	[0] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 82人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [0] 0	計 [3] 187	[0] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 82人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 105人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報工学府 情報科学専攻(博士後期課程) 博士(情報工学)	3年	6人	18人	基礎となる学部名等 情報工学部 知能情報工学科 システム創成情報工学科 生命情報工学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員超過率	備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(若干名) 6人	(若干名) 6人	() 人	1.50	平成20年度は、平成20年10月入学2名含む。
志願者数	(3) 13	(2) 7	()		
受験者数	(3) 13	(2) 7	()		
合格者数	(3) 13	(2) 6	()		
B 入学者数	(3) 12	(2) 6	()		
入学定員超過率 B / A	(-) 2.00	(-) 1.00	()		

(注) 1 ()内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[2] 10	[3] 8	[]	
2年次	[]	[2] 9	[]	
3年次	[]	[]	[]	
計	[2] 10	[5] 17	[]	

(注) 1 []内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [0] 1	計 [3] 12	[0] 8.3 %
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 12人	
	(主な退学理由) 就職のため		
平成21年度	計 [0] 0	計 [5] 18	[0] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 12人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 6人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報工学府 情報システム専攻(博士前期課程) 修士(情報工学)	2年	56人	112人	基礎となる学部名等 情報工学部 電子情報工学科 機械情報工学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員超過率	備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(若干名) 56人	(若干名) 56人	()人	1.45	平成20年度は平成20年10月入学1名含む。
志願者数	(0) 83	(0) 105	()		
受験者数	(0) 81	(0) 103	()		
合格者数	(0) 80	(0) 96	()		
B 入学者数	(0) 73	(0) 90	()		
入学定員超過率 B / A	(-) 1.30	(-) 1.60	()		

(注) 1 ()内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[1] 72	[3] 91	[]	
2年次	[]	[1] 72	[]	
計	[1] 72	[4] 163	[]	

(注) 1 []内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [0] 0	計 [2] 73	[0] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 73人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [0] 0	計 [4] 163	[0] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 73人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 90人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下
- ・学力不足
- ・他の教育機関への入学・転学
- ・海外留学
- ・就職
- ・学生個人の心身に関する事情
- ・家庭の事情
- ・除籍
- ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報工学府 情報システム専攻(博士後期課程) 博士(情報工学)	3年	4人	12人	基礎となる学部名等 情報工学部 電子情報工学科 機械情報工学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
区分	人	人	人	倍	
A 入学定員	(若干名) 4	(若干名) 4	()	1.00	平成20年度は、平成20年10月入学1名含む。
志願者数	(2) 6	(0) 2	()		
受験者数	(2) 6	(0) 2	()		
合格者数	(2) 6	(0) 2	()		
B 入学者数	(2) 6	(0) 2	()		
入学定員超過率 B / A	(-) 1.50	(-) 0.50	()		

(注) 1 ()内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
学年				
1年次	[2] 5	[1] 3	[]	
2年次	[]	[2] 5	[]	
3年次	[]	[]	[]	
計	[2] 5	[3] 8	[]	

(注) 1 []内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [0] 0	計 [2] 6	[0] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 6人	
(主な退学理由)			
平成21年度	計 [0] 0	計 [3] 8	[0] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 6人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 2人	
(主な退学理由)			
平成22年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報工学府 情報創成工学専攻(博士前期課程) 修士(情報工学)	2年	31人	62人	基礎となる学部名等

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員超過率	備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(若干名) 31人	(若干名) 31人	()人	1.04倍	
志願者数	() 39	() 35	()		
受験者数	() 39	() 34	()		
合格者数	() 37	() 32	()		
B 入学者数	() 35	() 30	()		
入学定員超過率 B / A	(-) 1.12	(-) 0.96	()		

(注) 1 ()内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[] 35	[] 30	[]	平成20年10月1日付け情報科学専攻から1名転専攻
2年次	[]	[] 36	[]	
計	[] 35	[] 66	[]	

(注) 1 []内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [0] 0	計 [0] 35	[0] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 35人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [0] 0	計 [2] 65	[0] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 35人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 30人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報工学府 情報創成工学専攻(博士後期課程) 博士(情報工学)	3年	4人	12人	基礎となる学部名等

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
区分					
A 入学定員	(若干名) 4人	(若干名) 4人	() 人	0.25 倍	
志願者数	(0) 0	(2) 2	()		
受験者数	(0) 0	(2) 2	()		
合格者数	(0) 0	(2) 2	()		
B 入学者数	(0) 0	(2) 2	()		
入学定員超過率 B / A	(-) 0.00	(-) 0.50	()		

(注) 1 ()内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
学年				
1年次	[] 0	[0] 2	[]	
2年次	[]	[] 0	[]	
3年次	[]	[]	[]	
計	[] 0	[0] 2	[]	

(注) 1 []内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [0] 0	計 [0] 0	[0] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 0人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [0] 0	計 [0] 2	[0] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 0人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 2人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	計 []	[] % %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 []	計 []	[] % %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下
- ・学力不足
- ・他の教育機関への入学・転学
- ・海外留学
- ・就職
- ・学生個人の心身に関する事情
- ・家庭の事情
- ・除籍
- ・その他

2 授業科目の概要

< 情報工学府 情報科学専攻 前期課程 >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	情報数学特論	1・2		2			1					
	ダイナミカルシステム特論	1・2		2		1						
	非線形現象特論	1・2		2								
	認知科学	1・2		2								
	情報社会学	1・2		2								
	科学技術英文技法	1・2		2								
	企業経営特論	1・2		2								
	国際経営特論	1・2		2								
	経済産業振興特論	1・2		1								
	マイクロ流体工学特論	1・2		2								
	数学基礎特論	1・2		2		1						
	位相空間論特論	1・2		2		1						
	代数系特論	1・2		2								
	代数系特論	1・2		2								
	変換群論特論	1・2		2			1					
	幾何学特論	1・2		2								
	実解析学特論	1・2		2								
	関数解析学特論	1・2		2								
	情報教育特論	1・2		2								
	科学技術日本語	1・2		1								
	言語文化特論	1・2		2								課程見直しのため、科目を追加(21)
	文化人類学特論	1・2		2								課程見直しのため、科目を追加(21)
	現代世間学特論	1・2		2								課程見直しのため、科目を追加(21)
	近代ドイツ哲学特論	1・2		2								課程見直しのため、科目を追加(21)
	モルフォロジー特論	1・2		2			1					
	応用数理学特論	1・2		2		1						
算法表現特論	1・2		2				1					
オートマトンと言語特論	1・2		2			1						
ソフトウェア工学特論	1・2		2									
ソフトウェア工学特論	1・2		2									
大規模データベース特論	1・2		2		1							
知識ベース特論	1・2		2		1							
知識ベース特論	1・2		2		1							
計算機システム特論	1・2		2									
計算機システム特論	1・2		2									
情報処理機構特論	1・2		2			1						
コンピュータビジョン特論	1・2		2		1							
コンピュータグラフィックス特論	1・2		2									
推論と学習特論	1・2		2		1							
言語処理工学特論	1・2		2		4						異動のため、平成20年度より教員変更(21)	
言語データ工学特論	1・2		2		1							
神経回路網特論	1・2		2		1							
自然言語処理特論	1・2		2		4						異動のため、平成20年度より教員変更(21)	
パターン認識特論	1・2		2		1							
パターン理解特論	1・2		2			1						

情報科目目	現代信号解析特論	1・2	2		1				
	アルゴリズム工学特論	1・2	2			1			
	最適化理論特論	1・2	2		1				
	データサイエンス特論	1・2	2		1				課程見直しのため、平成20年度より名称変更(21)
	統計的データ科学特論								
	コンピュータグラフィックス特論	1・2	2			1			異動のため、教員変更(21)
	組込みシステム	1・2	2		1				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	プロセス解析計算法	1・2	2		1				
	代謝工学特論	1・2	2		1				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	バイオインフォマティクス特論	1・2	2		1				
	分子計算法特論	1・2	2			1			
	バイオシミュレーション特論	1・2	2		1				
	生命情報工学特論	1・2	2		1				
	生体機能情報特論	1・2	2			1			課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	脳機能計測解析特論	1・2	2		1				課程見直しのため、平成20年度より科目区分及び名称を変更並びに教員変更(21)
	生体情報システム特論								
	デジタル画像処理特論	1・2	2		1	4			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	統計的学習特論	1・2	2		1				
	情報回路特論	1・2	2						
	通信回路特論	1・2	2						
	情報物性特論	1・2	2						
	プランニングと問題解決特論	1・2	2						
	ロボットセンサ処理特論	1・2	2						
	C A E 特論	1・2	2						
	統計的パターン認識特論	1・2	2		1				
	マルチメディアセキュリティ特論	1・2	2			1			
	ロバスト制御特論	1・2	2		1	4			異動のため、教員変更(21)
	論理と証明特論	1・2	2			1			
	人工知能特論	1・2	2			1			課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	プロジェクト・マネジメント特論F	1・2	2						
	システムアーキテクチャ特論F	1・2	2						
	ビジネス・モデリング特論F	1・2	2						
企業情報システム特論F	1・2	2							
システム開発型プロジェクトF	1・2	2			1				
対象分	自然言語処理特論	1・2	2		1				
	パターン認識特論	1・2	2			1			
	ソフトウェア工学特論	1・2	2			1			
	計算量理論特論	1・2	2			1			
	音声情報処理特論	1・2	2						
	人工知能特論	1・2	2			4			課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	マルチメディア工学特論	1・2	2						
	ユーザモデリング特論	1・2	2						
	語用論	1・2	2						
	遺伝情報特論	1・2	2		1				
	生体分子情報特論	1・2	2		1				
	細胞情報伝達特論	1・2	2			1			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	生体情報システム特論								課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	生体分析化学特論	1・2	2		4	1			異動のため、平成20年度より教員及び名称変更(21)
	生体触媒情報特論								
	分子機能解析特論	1・2	2						
	生体機能情報特論	1・2	2			4			課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	生体プロセスシステム特論	1・2	2		1				
	生命機能構造連関特論	1・2	2		1	4			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	代謝工学特論	1・2	2		4				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)

野 科 目	生命化学特論	1・2		2			1			
	ロボットメカトロシステム特論	1・2		2		1				教育内容を見直し、2科目を1科目に再編
	ロボットメカトロシステム特論									
	ロボットメカトロシステム特論									
	光波工学特論	1・2		2		1				
	知能ロボット特論	1・2		2			1			
	組込みシステム	1・2		2		4				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	微生物学特論	1・2		2		1				
	ロバスト安定論特論	1・2		2			1			
	自動車工学特論	1・2		2						
	技術マネジメントと実践論理	1・2		2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	問題解決型プロジェクトI	1・2		2						
	問題解決型プロジェクト	1・2		2						
	問題解決型プロジェクト	1・2		2						
	企業演習	1・2		1						
	企業演習	1・2		2						
	企業演習	1・2		2						
	企業演習	1・2		2						
	情報工学特別研究	1・2		1						
	情報工学特別研究	1・2		2						
情報工学特別研究	1・2		2							
情報工学特別研究	1・2		2							
ン イ ミ 科 目 ラ	プログラミング	1・2		2						
	データ構造とアルゴリズム	1・2		2						
	オブジェクト指向プログラミング	1・2		2						
	計算機アーキテクチャ	1・2		2						
実 験 及 び 演 習	情報科学講究	1～2	2			6	8	1		
	情報科学講究	1～2	2			8 9	6			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	情報科学講究	1～2	2			8 7	5 4			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	情報科学講究	1～2	2							
	情報科学特別実験及び演習	1～2	6			6	8	1		
	情報科学特別実験及び演習	1～2	6			8 9	6			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	情報科学特別実験及び演習	1～2	6			8 7	5 4			異動のため、平成20年度より教員変更(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	116		123	7	115		122	
				[]	[1]	[]	[1]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	計算理論特論	2	1・2	専門	選択	教育課程を見直し、5科目を廃止し、基礎科目を4科目新設した。
2	プログラム理論特論	2	1・2	専門	選択	
3	大規模解析システム	2	1・2	専門	選択	
4	プロセッサアーキテクチャ特論	2	1・2	専門	選択	
5	分散ミドルウェア	2	1・2	専門	選択	
6	ロボットメカトロシステム特論	2	1・2	専門	選択	両科目の教育内容を見直し、「ロボットメカトロシステム特論」に再編した。
7	ロボットメカトロシステム特論	2	1・2	専門	選択	

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育課程の見直しにより、授業科目の新設及び廃止を行った。
学生への周知方法は、掲示により行っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.05$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<情報工学府 情報科学専攻 後期課程>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	情報数学特論	1・2・3		2								
	ダイナミカルシステム特論	1・2・3		2		1						
	非線形現象特論	1・2・3		2								
	認知科学	1・2・3		2								
	情報社会学	1・2・3		2								
	科学技術英文技法	1・2・3		2								
	企業経営特論	1・2・3		2								
	国際経営特論	1・2・3		2								
	経済産業振興特論	1・2・3		1								
	マイクロ流体工学特論	1・2・3		2								
	数学基礎特論	1・2・3		2		1						
	位相空間論特論	1・2・3		2		1						
	代数系特論	1・2・3		2								
	代数系特論	1・2・3		2								
	変換群論特論	1・2・3		2								
	幾何学特論	1・2・3		2								
	実解析学特論	1・2・3		2								
	関数解析学特論	1・2・3		2								
	情報教育特論	1・2・3		2								
	科学技術日本語	1・2・3		1								
	言語文化特論	1・2・3		2								課程見直しのため、科目を追加(21)
	文化人類学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、科目を追加(21)
	現代世間学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、科目を追加(21)
	近代ドイツ哲学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、科目を追加(21)
	モルフォロジー特論	1・2・3		2								
	応用数理学特論	1・2・3		2		1						
算法表現特論	1・2・3		2									
オートマトンと言語特論	1・2・3		2									
ソフトウェア工学特論	1・2・3		2									
ソフトウェア工学特論	1・2・3		2									
大規模データベース特論	1・2・3		2		1							
知識ベース特論	1・2・3		2		1							
知識ベース特論	1・2・3		2		1							
計算機システム特論	1・2・3		2									
計算機システム特論	1・2・3		2									
情報処理機構特論	1・2・3		2									
コンピュータビジョン特論	1・2・3		2		1							
コンピュータグラフィックス特論	1・2・3		2									
推論と学習特論	1・2・3		2		1							
言語処理工学特論	1・2・3		2		4						異動のため、平成20年度より教員変更(21)	
言語データ工学特論	1・2・3		2		1							
神経回路網特論	1・2・3		2		1							
自然言語処理特論	1・2・3		2		4						異動のため、平成20年度より教員変更(21)	
パターン認識特論	1・2・3		2		1							
パターン理解特論	1・2・3		2									
現代信号解析特論	1・2・3		2		1							

情報科目	アルゴリズム工学特論	1・2・3	2					
	最適化理論特論	1・2・3	2	1				
	データサイエンス特論 統計的データ科学特論	1・2・3	2	1				課程見直しのため、平成20年度より名称変更(21)
	コンピュータグラフィックス特論	1・2・3	2		1			異動のため、教員変更(21)
	組込みシステム	1・2・3	2	1				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	プロセス解析計算法	1・2・3	2	1				
	代謝工学特論	1・2・3	2	1				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	バイオインフォマティクス特論	1・2・3	2	1				
	分子計算法特論	1・2・3	2					
	バイオシミュレーション特論	1・2・3	2	1				
	生命情報工学特論	1・2・3	2	1				
	生体機能情報特論	1・2・3	2					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	脳機能計測解析特論	1・2・3	2	1				課程見直しのため、平成20年度より科目区分及び名称を変更並びに教員変更(21)
	生体情報システム特論							
	デジタル画像処理特論	1・2・3	2	1	4			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	統計的学習特論	1・2・3	2	1				
	情報回路特論	1・2・3	2					
	通信回路特論	1・2・3	2					
	情報物性特論	1・2・3	2					
	プランニングと問題解決特論	1・2・3	2					
	ロボットセンサ処理特論	1・2・3	2					
	CAE特論	1・2・3	2					
	統計的パターン認識特論	1・2・3	2	1				
	マルチメディアセキュリティ特論	1・2・3	2					
	ロバスト制御特論	1・2・3	2	1				異動のため、教員変更(21)
	論理と証明特論	1・2・3	2					
	人工知能特論	1・2・3	2					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	プロジェクト・マネジメント特論F	1・2・3	2					
	システムアーキテクチャ特論F	1・2・3	2					
	ビジネス・モデリング特論F	1・2・3	2					
	企業情報システム特論F	1・2・3	2					
システム開発型プロジェクトF	1・2・3	2						
対象分野	自然言語処理特論	1・2・3	2	1				
	パターン認識特論	1・2・3	2					
	ソフトウェア工学特論	1・2・3	2					
	計算量理論特論	1・2・3	2					
	音声情報処理特論	1・2・3	2					
	人工知能特論	1・2・3	2					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	マルチメディア工学特論	1・2・3	2					
	ユーザモデリング特論	1・2・3	2					
	語用論	1・2・3	2					
	遺伝情報特論	1・2・3	2	1				
	生体分子情報特論	1・2・3	2	1				
	細胞情報伝達特論	1・2・3	2					
	生体情報システム特論	1・2・3	2	4				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	生体分析化学特論	1・2・3	2	4				異動のため、平成20年度より教員変更(21) 課程見直しのため、平成20年度より名称変更(21)
	生体触媒情報特論	1・2・3						
	分子機能解析特論	1・2・3	2					
	生体機能情報特論	1・2・3	2					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	生体プロセスシステム特論	1・2・3	2	1				
	生命機能構造連関特論	1・2・3	2	1	4			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	代謝工学特論	1・2・3	2	4				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
生命化学特論	1・2・3	2						
ロボットメカトロシステム特論	1・2・3	2	1				教育内容を見直し、2科目を1科目に再編	
ロボットメカトロシステム特論	1・2・3							

目	ロボットメカトロシステム特論	1・2・3								
	光波工学特論	1・2・3	2		1					
	知能ロボット特論	1・2・3	2							
	組込みシステム	1・2・3	2		4					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	微生物学特論	1・2・3	2		1					
	ロバスト安定論特論	1・2・3	2			1				
	自動車工学特論	1・2・3	2							
	技術マネジメントと実践論理	1・2・3	2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	問題解決型プロジェクトI	1・2・3	2							
	問題解決型プロジェクト	1・2・3	2							
	問題解決型プロジェクト	1・2・3	2							
	企業演習	1・2・3	1							
	企業演習	1・2・3	2							
	企業演習	1・2・3	2							
	企業演習	1・2・3	2							
	情報工学特別研究	1・2・3	1							
	情報工学特別研究	1・2・3	2							
	情報工学特別研究	1・2・3	2							
	情報工学特別研究	1・2・3	2							
	ンイ トミ 科 目 ラ	プログラミング	1・2・3	2						
データ構造とアルゴリズム		1・2・3	2							
オブジェクト指向プログラミング		1・2・3	2							
計算機アーキテクチャ		1・2・3	2							
実 験 及 び 演 習	情報科学特別講究	1～3	6		6					
	情報科学特別講究	1～3	6		8 9	2 4				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	情報科学特別講究	1～3	6		8 7	4				異動のため、平成20年度より教員変更(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 116	科目	科目 119	科目 3	科目 115	科目	科目 118	
				[]	[1]	[]	[1]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	計算理論特論	2	1・2・3	専門	選択	教育課程を見直し、5科目を廃止し、基礎科目を4科目新設した。
2	プログラム理論特論	2	1・2・3	専門	選択	
3	大規模解析システム	2	1・2・3	専門	選択	
4	プロセッサアーキテクチャ特論	2	1・2・3	専門	選択	
5	分散ミドルウェア	2	1・2・3	専門	選択	
6	ロボットメカトロシステム特論	2	1・2・3	専門	選択	両科目の教育内容を見直し、「ロボットメカトロシステム特論」に再編した。
7	ロボットメカトロシステム特論	2	1・2・3	専門	選択	

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育課程の見直しにより、授業科目の新設及び廃止を行った。
 学生への周知方法は、掲示により行っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.05}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<情報工学府 情報システム専攻 前期課程>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	情報数学特論	1・2		2								
	ダイナミカルシステム特論	1・2		2								
	非線形現象特論	1・2		2			1					
	認知科学	1・2		2								
	情報社会学	1・2		2								
	科学技術英文技法	1・2		2								
	企業経営特論	1・2		2								
	国際経営特論	1・2		2								
	経済産業振興特論	1・2		1								
	マイクロ流体工学特論	1・2		2			1					
	数学基礎特論	1・2		2								
	位相空間論特論	1・2		2								
	代数系特論	1・2		2								
	代数系特論	1・2		2								
	変換群論特論	1・2		2								
	幾何学特論	1・2		2								
	実解析学特論	1・2		2								
	関数解析学特論	1・2		2								
	情報教育特論	1・2		2								
	科学技術日本語	1・2		1								
	言語文化特論	1・2		2								課程見直しのため、科目を追加(21)
	文化人類学特論	1・2		2								課程見直しのため、科目を追加(21)
	現代世間学特論	1・2		2								課程見直しのため、科目を追加(21)
	近代ドイツ哲学特論	1・2		2								課程見直しのため、科目を追加(21)
	モルフォロジー特論	1・2		2								
	応用数理学特論	1・2		2								
算法表現特論	1・2		2									
オートマトンと言語特論	1・2		2									
ソフトウェア工学特論	1・2		2									
ソフトウェア工学特論	1・2		2									
大規模データベース特論	1・2		2									
知識ベース特論	1・2		2									
知識ベース特論	1・2		2									
計算機システム特論	1・2		2			1						
計算機システム特論	1・2		2				1					
情報処理機構特論	1・2		2									
コンピュータビジョン特論	1・2		2									
コンピュータグラフィックス特論	1・2		2									
推論と学習特論	1・2		2									
言語処理工学特論	1・2		2									
言語データ工学特論	1・2		2									
神経回路網特論	1・2		2									
自然言語処理特論	1・2		2									
パターン認識特論	1・2		2									
パターン理解特論	1・2		2									
現代信号解析特論	1・2		2									

情報科目	アルゴリズム工学特論	1・2	2						
	最適化理論特論	1・2	2						
	データサイエンス特論	1・2	2						課程見直しのため、平成20年度より名称変更(21)
	統計的データ科学特論								
	コンピュータグラフィックス特論	1・2	2						
	組込みシステム	1・2	2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	プロセス解析計算法	1・2	2						
	代謝工学特論	1・2	2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	バイオインフォマティクス特論	1・2	2						
	分子計算法特論	1・2	2						
	バイオシミュレーション特論	1・2	2						
	生命情報工学特論	1・2	2						
	生体機能情報特論	1・2	2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	脳機能計測解析特論	1・2	2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	デジタル画像処理特論	1・2	2						
	統計的学習特論	1・2	2						
	情報回路特論	1・2	2			1			
	通信回路特論	1・2	2			1			
	情報物性特論	1・2	2			1			
	プランニングと問題解決特論	1・2	2	1					
	ロボットセンサ処理特論	1・2	2			1			
	CAE特論	1・2	2			1			
	統計的パターン認識特論	1・2	2						
	マルチメディアセキュリティ特論	1・2	2						
	ロバスト制御特論	1・2	2						
	論理と証明特論	1・2	2						
	人工知能特論	1・2	2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
プロジェクト・マネジメント特論F	1・2	2							
システムアーキテクチャ特論F	1・2	2							
ビジネス・モデリング特論F	1・2	2							
企業情報システム特論F	1・2	2							
システム開発型プロジェクトF	1・2	2							
対象分野科目	半導体工学特論	1・2	2	1					
	LSI設計特論	1・2	2						
	超伝導工学特論	1・2	2	1					
	マイクロシステム特論	1・2	2						
	磁気情報工学特論	1・2	2	1					
	応用電子機器特論	1・2	2	1					
	デジタル信号処理特論	1・2	2	1					
	応用超伝導特論	1・2	2	1	4				異動のため、教員変更(21)
	ネットワークデザイン特論	1・2	2		1				
	ネットワークマネジメント特論	1・2	2	1					
	計算力学特論	1・2	2	1					
	熱システム特論	1・2	2						
	流動システム特論	1・2	2	1					
	トライボロジー特論	1・2	2			1			
	メカトロシステム特論	1・2	2	1					
	ロボティクス設計特論	1・2	2		1				
	センサ・アクチュエータ特論	1・2	2		1				課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	機械システム特別講義	1・2	2						
	知能化機械システム特論	1・2	2						
	機能性材料特論	1・2	2		1				
	超精密ナノマシニング特論	1・2	2	1					
超精密メカニズム設計特論	1・2	2	1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
燃焼工学特論	1・2	2	1						
ネットワークアーキテクチャ特論	1・2	2	1						
集積回路設計特論	1・2	2							
自動車工学特論	1・2	2							

	技術マネジメントと実践論理	1・2		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	先端半導体デバイス特論	1・2		2							課程見直しのため、科目を追加(21)
	半導体真空技術特論	1・2		2							課程見直しのため、科目を追加(21)
	コンピューショナルセキュリティ	1・2		2							課程見直しのため、科目を追加(21)
	問題解決型プロジェクトI	1・2		2							
	問題解決型プロジェクト	1・2		2							
	問題解決型プロジェクト	1・2		2							
	企業演習	1・2		1							
	企業演習	1・2		2							
	企業演習	1・2		2							
	企業演習	1・2		2							
	情報工学特別研究	1・2		1							
	情報工学特別研究	1・2		2							
	情報工学特別研究	1・2		2							
	情報工学特別研究	1・2		2							
ソ ニ ト ミ コ 目 ラ	プログラミング	1・2		2							
	データ構造とアルゴリズム	1・2		2							
	オブジェクト指向プログラミング	1・2		2							
	計算機アーキテクチャ	1・2		2							
実 験 及 び 演 習	情報システム講究	1～2	2			9 8	7 6				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	情報システム講究	1～2	2			7 6	7 6	1			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	情報システム講究	1～2	2								
	情報システム特別実験及び演習	1～2	6			9 8	7 6				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	情報システム特別実験及び演習	1～2	6			7 6	7 6	1			異動のため、平成20年度より教員変更(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 5	科目 114	科目	科目 119	科目 5	科目 122 [+ 8]	科目	科目 127 [+ 8]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	計算理論特論	2	1・2	専門	選択	教育課程を見直し、7科目を廃止し、15科目新設した。
2	プログラム理論特論	2	1・2	専門	選択	
3	大規模解析システム	2	1・2	専門	選択	
4	知能機械学特論	2	1・2	専門	選択	
5	知能ロボット工学特論	2	1・2	専門	選択	
6	機械システム特別講義	2	1・2	専門	選択	
7	分散ミドルウェア	2	1・2	専門	選択	

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育課程の見直しにより、授業科目の新設及び廃止を行った。
 学生への周知方法は、掲示により行っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.05}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

< 情報工学府 情報システム専攻 後期課程 >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	情報数学特論	1・2・3		2								
	ダイナミカルシステム特論	1・2・3		2								
	非線形現象特論	1・2・3		2			1					
	認知科学	1・2・3		2								
	情報社会学	1・2・3		2								
	科学技術英文技法	1・2・3		2								
	企業経営特論	1・2・3		2								
	国際経営特論	1・2・3		2								
	経済産業振興特論	1・2・3		1								
	マイクロ流体工学特論	1・2・3		2								
	数学基礎特論	1・2・3		2								
	位相空間論特論	1・2・3		2								
	代数系特論	1・2・3		2								
	代数系特論	1・2・3		2								
	変換群論特論	1・2・3		2								
	幾何学特論	1・2・3		2								
	実解析学特論	1・2・3		2								
	関数解析学特論	1・2・3		2								
	情報教育特論	1・2・3		2								
	科学技術日本語	1・2・3		1								
言語文化特論	1・2・3		2								課程見直しのため、科目を追加(21)	
文化人類学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、科目を追加(21)	
現代世間学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、科目を追加(21)	
近代ドイツ哲学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、科目を追加(21)	
モルフォロジー特論	1・2・3		2									
応用数理学特論	1・2・3		2									
算法表現特論	1・2・3		2									
オートマトンと言語特論	1・2・3		2									
ソフトウェア工学特論	1・2・3		2									
ソフトウェア工学特論	1・2・3		2									
大規模データベース特論	1・2・3		2									
知識ベース特論	1・2・3		2									
知識ベース特論	1・2・3		2									
計算機システム特論	1・2・3		2			1						
計算機システム特論	1・2・3		2									
情報処理機構特論	1・2・3		2									
コンピュータビジョン特論	1・2・3		2									
コンピュータグラフィックス特論	1・2・3		2									
推論と学習特論	1・2・3		2									
言語処理工学特論	1・2・3		2									
言語データ工学特論	1・2・3		2									
神経回路網特論	1・2・3		2									
自然言語処理特論	1・2・3		2									
パターン認識特論	1・2・3		2									
パターン理解特論	1・2・3		2									
現代信号解析特論	1・2・3		2									

情報科目	アルゴリズム工学特論	1・2・3	2						
	最適化理論特論	1・2・3	2						
	データサイエンス特論	1・2・3	2						課程見直しのため、平成20年度より名称変更(21)
	統計的データ科学特論								
	コンピュータグラフィックス特論	1・2・3	2						
	組込みシステム	1・2・3	2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	プロセス解析計算法	1・2・3	2						
	代謝工学特論	1・2・3	2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	バイオインフォマティクス特論	1・2・3	2						
	分子計算法特論	1・2・3	2						
	バイオシミュレーション特論	1・2・3	2						
	生命情報工学特論	1・2・3	2						
	生体機能情報特論	1・2・3	2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	脳機能計測解析特論	1・2・3	2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	デジタル画像処理特論	1・2・3	2						
	統計的学習特論	1・2・3	2						
	情報回路特論	1・2・3	2						
	通信回路特論	1・2・3	2						
	情報物性特論	1・2・3	2						
	プランニングと問題解決特論	1・2・3	2		1				
	ロボットセンサ処理特論	1・2・3	2						
	C A E 特論	1・2・3	2						
	統計的パターン認識特論	1・2・3	2						
	マルチメディアセキュリティ特論	1・2・3	2						
	ロボスタ制御特論	1・2・3	2						
	論理と証明特論	1・2・3	2						
	人工知能特論	1・2・3	2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	プロジェクト・マネジメント特論F	1・2・3	2						
	システムアーキテクチャ特論F	1・2・3	2						
	ビジネス・モデリング特論F	1・2・3	2						
企業情報システム特論F	1・2・3	2							
システム開発型プロジェクトF	1・2・3	2							
対象分野科目	半導体工学特論	1・2・3	2		1				
	L S I 設計特論	1・2・3	2						
	超伝導工学特論	1・2・3	2		1				
	マイクロシステム特論	1・2・3	2						
	磁気情報工学特論	1・2・3	2		1				
	応用電子機器特論	1・2・3	2		1				
	デジタル信号処理特論	1・2・3	2		1				
	応用超伝導特論	1・2・3	2		1				異動のため、教員変更(21)
	ネットワークデザイン特論	1・2・3	2			1			
	ネットワークマネジメント特論	1・2・3	2		1				
	計算力学特論	1・2・3	2		1				
	熱システム特論	1・2・3	2						
	流動システム特論	1・2・3	2		1				
	トライボロジー特論	1・2・3	2						
	メカトロシステム特論	1・2・3	2		1				
	ロボティクス設計特論	1・2・3	2						
	センサ・アクチュエータ特論	1・2・3	2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	機械システム特別講義	1・2・3	2						
	知能化機械システム特論	1・2・3	2						
	機能性材料特論	1・2・3	2						
	超精密ナノマシニング特論	1・2・3	2		1				
	超精密メカニズム設計特論	1・2・3	2		1				課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	燃焼工学特論	1・2・3	2		1				
ネットワークアーキテクチャ特論	1・2・3	2		1					
集積回路設計特論	1・2・3	2							
自動車工学特論	1・2・3	2							

	技術マネジメントと実践論理	1・2・3	2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	先端半導体デバイス特論	1・2・3	2							課程見直しのため、科目を追加(21)
	半導体真空技術特論	1・2・3	2							課程見直しのため、科目を追加(21)
	コンピュータショナルセキュリティ	1・2・3	2							課程見直しのため、科目を追加(21)
	問題解決型プロジェクトI	1・2・3	2							
	問題解決型プロジェクト	1・2・3	2							
	問題解決型プロジェクト	1・2・3	2							
	企業演習	1・2・3	1							
	企業演習	1・2・3	2							
	企業演習	1・2・3	2							
	企業演習	1・2・3	2							
	情報工学特別研究	1・2・3	1							
	情報工学特別研究	1・2・3	2							
	情報工学特別研究	1・2・3	2							
	情報工学特別研究	1・2・3	2							
ニ ミ コ 目 ラ	プログラミング	1・2・3	2							
	データ構造とアルゴリズム	1・2・3	2							
	オブジェクト指向プログラミング	1・2・3	2							
	計算機アーキテクチャ	1・2・3	2							
実 験 及 び 演 習	情報システム特別講究	1～3	6			9 8	1			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	情報システム特別講究	1～3	6			7 6	1			異動のため、平成20年度より教員変更(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
2	114		116	2	122		124	
				[]	[+ 8]	[]	[+ 8]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	計算理論特論	2	1・2・3	専門	選択	教育課程を見直し、7科目を廃止し、15科目新設した。
2	プログラム理論特論	2	1・2・3	専門	選択	
3	大規模解析システム	2	1・2・3	専門	選択	
4	知能機械学特論	2	1・2・3	専門	選択	
5	知能ロボット工学特論	2	1・2・3	専門	選択	
6	機械システム特別講義	2	1・2・3	専門	選択	
7	分散ミドルウェア	2	1・2・3	専門	選択	

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育課程の見直しにより、授業科目の新設及び廃止を行った。
 学生への周知方法は、掲示により行っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.06}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

< 情報工学府 情報創成工学専攻 前期課程 >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	認知科学	1・2		2								
	情報社会学	1・2		2								
	科学技術英文技法	1・2		2								
	企業経営特論	1・2		2								
	国際経営特論	1・2		2								
	情報創成特論Ⅰ	1・2		2								
	情報創成特論Ⅱ	1・2		2								
	プロジェクト・マネジメント特論C	1・2		2								
科学技術日本語	1・2		1									
対象分野科目	高信頼性設計論	1・2		2		1						
	L S I C A D特論	1・2		2								
	システムL S I設計論	1・2		2								
	シンクロナス・マネジメント	1・2		2								
	システム・アプローチ	1・2		2			1					異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	デジタル生産	1・2		2								
	リアルタイム・システム	1・2		2								
	システムアーキテクチャ特論C	1・2		2		1 2						異動のため、教員変更(21)
	ネットワーク経済学	1・2		2			1					
	ビジネス・リエンジニアリング	1・2		2								
	ビジネス・モデリング特論C	1・2		2								
	仮想空間論	1・2		2		1						
	思考モデリング	1・2		2			1					
	マルチメディア表現特論	1・2		2								
	ヒューマン・インタフェース	1・2		2								
	企業情報システム特論C	1・2		2								
	システム開発型プロジェクトC	1・2		2								
	問題解決型プロジェクトⅠ	1・2		2								
	問題解決型プロジェクト	1・2		2								
	問題解決型プロジェクト	1・2		2								
	プラスチック射出成型型設計特論	1・2		2								
	プレス金型設計特論	1・2		2								
	金型企業経営特論	1・2		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	鍛造金型設計特論	1・2		2								
	鋳造金型設計特論	1・2		2								
	金型材料・熱処理特論	1・2		2								
	パーソナルソフトウェアプロセス計画演習	1・2		2			4					異動のため、教員変更(21)
	パーソナルソフトウェアプロセス品質演習	1・2		2			4					異動のため、教員変更(21)
	チームソフトウェアプロセス演習	1・2		2			4					異動のため、教員変更(21)
	チームソフトウェアプロセス演習	1・2		2			4					異動のため、教員変更(21)
	オペレーティングシステム特論	1・2		2				1				課程見直しのため、科目を追加(21)
	企業演習	1・2		1								
企業演習	1・2		2									
企業演習	1・2		2									
企業演習	1・2		2									
情報工学特別研究	1・2		1									
情報工学特別研究	1・2		2									

	情報工学特別研究	1・2		2							
	情報工学特別研究	1・2		2							
ンイ トミ 科 目 ラ	プログラミング	1・2		2							
	データ構造とアルゴリズム	1・2		2							
	オブジェクト指向プログラミング	1・2		2							
	計算機アーキテクチャ	1・2		2							
実 験 及 び 演 習 講 究 特 別	プロジェクト研究	1～2	8			3 4	3				異動のため、教員変更(21)
	情報創成講究	1～2	2			3 4	3				異動のため、教員変更(21)
	情報創成特別実験及び演習	1～2	6			3 4	3				異動のため、教員変更(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 51	科目	科目 54	科目 3	科目 52	科目	科目 55	
				[]	[+ 1]	[]	[+ 1]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	ミドルウェア	2	1・2	専門	選択	教育課程を見直し、専門科目を整理し、2科目新設した。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育課程の見直しにより、授業科目の新設及び廃止を行った。
学生への周知方法は、掲示により行っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	0.01
設置時の計画の授業科目数の計		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

< 情報工学府 情報創成工学専攻 後期課程 >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	認知科学	1・2・3	2									
	情報社会学	1・2・3	2									
	科学技術英文技法	1・2・3	2									
	企業経営特論	1・2・3	2									
	国際経営特論	1・2・3	2									
	情報創成特論Ⅰ	1・2・3	2									
	情報創成特論Ⅱ	1・2・3	2									
	プロジェクト・マネジメント特論C	1・2・3	2									
科学技術日本語	1・2・3	1										
対象分野科目	高信頼性設計論	1・2・3	2			1						
	LSI CAD特論	1・2・3	2									
	システムLSI設計論	1・2・3	2									
	シンクロナス・マネジメント	1・2・3	2									
	システム・アプローチ	1・2・3	2									
	デジタル生産	1・2・3	2									
	リアルタイム・システム	1・2・3	2									
	システムアーキテクチャ特論C	1・2・3	2			1 2						異動のため、教員変更(21)
	ネットワーク経済学	1・2・3	2									
	ビジネス・リエンジニアリング	1・2・3	2									
	ビジネス・モデリング特論C	1・2・3	2									
	仮想空間論	1・2・3	2			1						
	思考モデリング	1・2・3	2									
	マルチメディア表現特論	1・2・3	2									
	ヒューマン・インタフェース	1・2・3	2									
	企業情報システム特論C	1・2・3	2									
	システム開発型プロジェクトC	1・2・3	2									
	問題解決型プロジェクトI	1・2・3	2									
	問題解決型プロジェクト	1・2・3	2									
	問題解決型プロジェクト	1・2・3	2									
	プラスチック射出成型型設計特論	1・2・3	2									
	プレス金型設計特論	1・2・3	2									
	金型企業経営特論	1・2・3	2									課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	鍛造金型設計特論	1・2・3	2									
	鋳造金型設計特論	1・2・3	2									
	金型材料・熱処理特論	1・2・3	2									
	パーソナルソフトウェアプロセス計画演習	1・2・3	2				4					異動のため、教員変更(21)
	パーソナルソフトウェアプロセス品質演習	1・2・3	2				4					異動のため、教員変更(21)
	チームソフトウェアプロセス演習	1・2・3	2				4					異動のため、教員変更(21)
	チームソフトウェアプロセス演習	1・2・3	2				4					異動のため、教員変更(21)
	オペレーティングシステム特論	1・2・3	2									課程見直しのため、科目を追加(21)
	企業演習	1・2・3	1									
企業演習	1・2・3	2										
企業演習	1・2・3	2										
企業演習	1・2・3	2										
情報工学特別研究	1・2・3	1										
情報工学特別研究	1・2・3	2										

	情報工学特別研究	1・2・3		2							
	情報工学特別研究	1・2・3		2							
ン ト ミ グ ラ 目	プログラミング	1・2・3		2							
	データ構造とアルゴリズム	1・2・3		2							
	オブジェクト指向プログラミング	1・2・3		2							
	計算機アーキテクチャ	1・2・3		2							
実験 講究、特別 及び 演習	情報創成特別講究	1～3	6			3 4					異動のため、教員変更(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 51	科目	科目 52	科目 1	科目 52	科目	科目 53	
				[]	[+ 1]	[]	[+ 1]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	ミドルウェア	2	1・2・3	専門	選択	教育課程を見直し、専門科目を整理し、2科目新設した。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育課程の見直しにより、授業科目の新設及び廃止を行った。
学生への周知方法は、掲示により行っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	0.07
設置時の計画の授業科目数の計		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	九州工業大学								備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
工学部										
機械知能工学科	4	140		560	学士(工学)	1.04	平成9年度	福岡県北九州市 戸畑区仙水町 1-1	平成20年度より入学定員変更	
建設社会工学科	4	80		320	学士(工学)	1.04	平成9年度		平成20年度より入学定員変更	
電気電子工学科	4	130	3年次 学科共 通 20	520	学士(工学)	1.04	平成20年度			
応用化学科	4	70		280	学士(工学)	1.12	平成20年度			
マテリアル工学科	4	60		240	学士(工学)	1.08	平成20年度			
総合システム工学科	4	51		204	学士(工学)	1.07	平成20年度			
電気工学科	4	—		—	学士(工学)		昭和63年度			平成20年度より学生募集停止
物質工学科	4	—		—	学士(工学)		昭和63年度			平成20年度より学生募集停止
情報工学部										
知能情報工学科	4	88	3年次10	372	学士(情報工学)	1.03	昭和62年度	福岡県飯塚市 川津640-1		
電子情報工学科	4	88	3年次10	372	学士(情報工学)	1.06	昭和62年度			
システム創成情報工学科	4	78	3年次10	332	学士(情報工学)	1.08	平成16年度			
機械情報工学科	4	78	3年次10	332	学士(情報工学)	1.03	平成16年度			
生命情報工学科	4	78	3年次10	332	学士(情報工学)	1.06	平成16年度			
機械システム工学科	4	—		—	学士(情報工学)		昭和63年度			平成16年度より学生募集停止
生物化学システム工学科	4	—		—	学士(情報工学)		平成1年度			平成16年度より学生募集停止

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。

4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<情報工学府 情報科学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
41	0	41	0	42	0	42	0	
(41)	(0)	(41)	(0)	[1]	0	[1]	[0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合： 1）

4 教員組織の状況

<情報工学府 情報科学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
24	0	24	0	24	0	24	0	
(23)	(0)	(23)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合： 1）

4 教員組織の状況

<情報工学府 情報システム専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
27	0	27	0	31	0	31	0	
(30)	0	30	(0)	[4]	[0]	[4]	[0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合： 1）

4 教員組織の状況

<情報工学府 情報システム専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
16	0	16	0	18	0	18	0	
(17)	0	(17)	(0)	[2]	[0]	[2]	[0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合： 1）

4 教員組織の状況

<情報工学府 情報創成工学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
7	0	7	0	6	0	6	0	教員組織見直しに伴う減
(6)	0	(6)	(0)	[1]	[0]	[1]	[0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合： 1）

4 教員組織の状況

<情報工学府 情報創成工学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
4	0	4	0	3	0	3	0	教員組織見直しに伴う減
(4)	(0)	(4)	(0)	[1]	[0]	[1]	[0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合： 1）

5 その他全般的事項

<大学院 情報工学府>

情報提供に関する事項

設置計画書等

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成21年 6月 19日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画書等」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://jimu-www.jimu.kyutech.ac.jp/soumu/setti/setti-top.htm>)

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成21年 7月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://jimu-www.jimu.kyutech.ac.jp/soumu/setti/setti-top.htm>)

(注)「情報提供に関する事項」の「 」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「 」又は「 」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「 」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス : d-secci@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(大学) 」としてください。